

# 地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

## 国際診療科

国際診療科部長 南谷かおり



みなさんが、もし外国で病気になるったらどうしますか？その日に長年住んでいて日常会話に不自由がなくても、病院で症状を説明したり医療用語を理解したりするのは大変かもしれません。ましてや、旅行中に言葉の通じない国で、予期せず体調を崩したらどうでしょう。とても不安になりませんか？

それは、日本で外国人のみなさんが病気になる場合も同じです。りんくう総合医療センターでは平成18年4月に国際外来を設置し(平成24年11月に国際診療科に改編)、当院を受診する外国人患者さんに対し医療通訳サービスを開始しました。経験豊富な医療通訳者が、英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語の4言語で、検査、診察、入院など様々な場面で患者さんと病院スタッフの会話を通訳します。医療通訳者は会話を正確に通訳するだけではなく、文化や習慣の違いによる誤解が生まれないよう、異文化コミュニケーションの架け橋となることもあります。とても大切な役割を担っています。

また、国際診療科には調整役のコーディネーターが常駐し、言語面以外にも、医療費や医療制度の説明、帰国支援、受診に関する問い合わせ相談など、外国の方が安心して受診し、医療者が適切な医療を提供できるようサポートを行っています。

これまでは日本在住の外国人の受診が大多数でしたが、近年は訪日観光ブームの影響か、外国人観光客の割合が増えつつあります。医療の現場でも日本のおもてなしの心が伝わるよう、日々奮闘しています。

## 口腔外科

口腔外科部長 大前政利



当科は日本口腔外科の頂点にある大阪大学口腔外科医師で組織され、その伝統と当センターの先進医療が融合した特殊な口腔外科で、北の大阪大学口腔外科、南の当科との位置づけです。

【**口腔・頭頸部癌**】首から顔面・口までの癌の治療に卓越した技術と実績、他にない多くの治療方法を準備しています。一頭頸部動注化学療法<sup>®</sup>は西日本トップレベル、高難度手術、温熱療法、カテーテルを使った治療、ホウ素中性子捕捉療法など多くの治療法をもち、機能・形態温存治療はもちろ、有効な治療方法のない進行癌や再発癌についても、「あきらめない癌治療」を実践する科として、近隣のみならず、遠方の口腔外科・他科からの紹介も数多くあります。

【**顎顔面外科**】顎顔面骨折、唇顎口蓋裂、顎変形症。顔面の先天奇形(兔唇、狼咽といわれていた唇顎口蓋裂)の治療は、大阪大学口腔外科の技術を踏襲し、赤ちゃんの非常に細かい顔面形成や、成人の顎変形症(顎が大きい・小さい・左右非対称)の骨切術の形成外科治療をする技術と経験をもっています。

【**神経性疾患**】三叉神経痛、顔面神経麻痺、口腔顔面の原因不明の疼痛、味覚異常、舌痛症など、顔面や口腔内、舌の灼熱痛を見てくれる科はどこ？と途方に暮れている方の診断・治療ができる数少ない診療科です。

【**唾液腺疾患**】唾液腺腫瘍、唾液腺の石、口腔乾燥など

【**親知らず抜歯、顎の手術**】多岐にわたる顎顔面の疾患の治療をしています。紹介状は必ずしも必要ではありませんが、紹介状の持参が望ましいです。気軽に越してください。